

会議録

会議の名称	令和4年度 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和4年7月7日（木） 午後7時から午後8時
開催場所	田無庁舎502会議室
出席者	委員：（対面）廣瀬委員長、田中副委員長、青木委員、田邊委員、 中村委員、中山委員、濱崎委員、藤井委員、 （オンライン）猪股委員、中野委員、 事務局：文化振興課堀課長、文化振興課文化振興係 山本係長、文化振興 課文化振興係 神田主事、西東京市第3期文化芸術振興計画策定 支援業務委託事業者（株式会社創建東京本部：大谷主任研究員）
議題	1 西東京市第3期文化芸術振興計画概要等について 2 文化芸術に関するアンケート調査（案）について 3 市内の活動団体及び子ども等へのヒアリング（案）について 4 その他
会議資料の 名称	資料1 西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱 資料2 西東京市文化芸術振興推進委員会傍聴要領 資料3 令和4年度西東京市文化芸術振興推進委員会名簿 資料4 西東京市第3期文化芸術振興計画策定スケジュール（案） 資料5 西東京市文化芸術に関する市民意向等 調査概要 資料6 18歳以上の市民を対象としたアンケート調査（案） 資料7 子どもを対象としたアンケート調査（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【以下、田中副委員長にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前任の葛西委員の異動に伴い、中山委員の就任を報告。 ・事務局にて、資料1を用いて文化芸術振興推進委員会の役割等について説明。 ・資料2を用いて、令和4年度第1回文化芸術振興推進委員会の傍聴人の定員を5人とすることで全会一致。 <p>2 【議題1】西東京市第3期文化芸術振興計画概要等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にて、資料4を用いて西東京市第3期文化芸術振興計画の概要及び策定に係る主なスケジュールを説明。 <p>3 【議題2】文化芸術に関するアンケート調査（案）及び【議題3】市内の活動団体及び子ども等へのヒアリング（案）について</p>	

・事務局より、資料5～資料7を用いてアンケートの調査目的、対象者、実施方法、スケジュール等について説明。

○副委員長：

・事務局からの説明について、質問等はあるか。

○委員：

・資料7について、小学5年生に対してアンケートの内容が難しく、質問数も多いのではないか。

○事務局：

・資料7は中学生を対象としたアンケート調査（案）である。小学生を対象としたアンケート調査（案）については、資料7にルビを付ける等、表記を分かり易く変更する予定である。また、質問数については、西東京市第3期文化芸術振興計画策定に向けた基礎資料とするため必要な項目を検討し設定しているが、内容を精査し質問数を減らして実施が出来るかどうかは検討する。

○委員：

・資料7について、「文化芸術」という言葉が分かりづらいため、表現を変えることはできないのか。

○事務局

・資料7では、小学生に対しても「文化芸術」とは何か分かるように定義するなど工夫はしているが、「文化芸術」という言葉を分かり易く置きかえることは困難と判断している。

○委員：

・定義には文化芸術の例示がいくつか記載されているが、小学生を対象としたアンケート調査（案）では、小学生に分かるものとし、文化芸術に関する例示を少なくしてはどうか。

○事務局：

・小学生にも分かりやすい内容に言い換えられないか検討する。

○委員：

・若い世代は、テレビを見ることが少なくなり、スマートフォンやパソコンを利用していることが多いと聞いている。その利用状況についても把握出来るように調査項目において言及してほしい。また、サブスクリプションについても、どの程度浸透しているのか、調査項目に含めて欲しい。

○事務局：

・テレビやDVD、インターネット等で鑑賞したことについての調査項目はあるが、スマートフォンなど具体例をさらに挙げるなどして検討していきたい。

○委員：

・小学生にはタブレット端末が支給されていることから、アンケート調査の回答はタブレット端末を利用するのも良いのではないか。

○事務局：

・小中学生へのアンケートの回答方法については、今後教育委員会と調整し、学校によ

り負担にならない方法を検討する、。

4 【議題4】その他について

○副委員長：

- ・これまで文化芸術振興推進委員会において、西東京市第2期文化芸術振興計画の総合評価等を実施してきた感想や西東京市第2期文化芸術振興計画の成果や課題等について意見等をいただきたい。

○委員：

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民の文化芸術活動や市民が文化芸術に触れる機会が減少した。新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、少しでも多くの文化事業を実施していくなどして、市民の文化芸術活動や市民が文化芸術に触れる機会が増えると良いのではないかと考えている。

○事務局：

- ・文化芸術振興推進委員会において発案された「誰でもピアノ」について、保谷こもれびホールでは、エントランスホールに設置されているピアノを活用し「誰でもピアノ」を始めた。文化芸術振興推進委員会での発案が形となり、市民が気軽に文化芸術に触れる機会づくりにつながったと考えている。

○副委員長：

- ・保谷こもれびホールに設置された「誰でもピアノ」は、令和4年5月から毎月1週間設置されており、多くの方が利用している。ピアノを弾いている様子はYoutubeにて動画が投稿されるなど、とても良い取り組みになった。

- ・令和4年7月31日任期満了となる委員（廣瀬委員長、田中副委員長、猪股委員、田邊委員、中村委員）より挨拶。
- ・事務局にて、次回の文化芸術振興推進委員会（8月上旬頃）について説明。

6 閉会

以上